

SDIC一覽表(A-072) 血糖降下剤一覽表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覽表(A-028)インスリン製剤一覽表をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名)	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考	
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る														1回回数 (服用時点)	用量 (1日量)		
					食事・運動療法に加えて下記を使用																	
2型糖尿病	2型糖尿病食後血糖推移の改善	糖尿病の食後過血糖の改善	耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制	食事・運動療法のみ	SU剤	BG系薬剤	αGI	TZD系薬剤	経口血糖降下剤	インスリン製剤	持効型溶解インスリン	中間型インスリン	BGU系薬剤+	TZDU系薬剤+	TZDG系薬剤+	持効型溶解インスリン+	SU剤+中間型インスリン	1日回数 (服用時点)	用量 (1日量)	備考		
スルホニルウレア系薬剤(SU剤)	ヘキストラスチノン (サノフィ) 販売中止	トルブタミド	錠:500mg 散:100%	×	○														1回(朝食前又は後)又は 2回(朝夕食前又は後)		0.5~1g 【最高】2g	
	ジメリン (塩野義)	アセトヘキサミド	錠:250mg, 500mg	×	○														1回(朝食前又は後)又は 2回(朝夕食前又は後)		250mg 【最高】1000mg	
	デアメリンS (杏林)	グリクロピラミド	錠:250mg	×	○														1回(朝食前又は後)又は 2回(朝夕食前又は後)	125~250mg 【最高】500mg		
	アベマイド (小林化工)	クロルプロバミド	錠:250mg	×	○														1回 (朝食前又は後)	100~125mg 【最高】500mg		
	オイグルコン (中外)	グリベンクラミド	錠:1.25mg, 2.5mg	○	○														1回(朝食前又は後)又は 2回(朝夕食前又は後)	1.25~2.5mg 【最高】10mg		
	ダオニール (サノフィ)																					
	グリミクロン (大日本住友)	グリクラジド	錠:40mg		○														1回(朝食前又は後)又は 2回(朝夕食前又は後)	40~120mg 【初回】40mg 【最高】160mg		
	グリミクロンHA (大日本住友)		錠:20mg		○																	
	アマリール (サノフィ)	グリメピリド	錠:0.5mg, 1mg, 3mg OD錠:0.5mg, 1mg, 3mg	○	○														1回(朝食前又は後)又は 2回(朝夕食前又は後)	1~4mg 【初回】0.5~1mg 【最高】6mg		
速効型インスリン	ファスティック (味の素-持田)	ナテグリニド	錠:30mg, 90mg	○	○														3回 (食直前)	270mg 【最高】360mg		
	スターシス (アステラス)																					
	グルファスト (キッセイ=武田)	ミチグリニド カルシウム水和物	錠:5mg, 10mg	×	○														3回 (食直前)	30mg		
	シュアポスト (大日本住友)	レパグリニド	錠:0.25mg, 0.5mg	×	○														3回 (食直前)	0.75~1.5mg 【初回】0.75mg 【最高】3mg		
BIGアナイド系薬剤	グリコラン (日本新薬)	メトホルミン 塩酸塩	錠:250mg	○	○														2~3回 (食後)	500mg 【初回】500mg 【最高】750mg		
	メトグルコ (大日本住友)		錠:250mg, 500mg	○	○														2~3回 (食直前又は後)	《成人》 750~1500mg 【初回】500mg 【最高】2250mg 《10歳以上の小児》 500~1500mg 【初回】500mg 【最高】2000mg	高用量製剤	
	【後】ジベトス (日医工)	ブホルミン 塩酸塩	錠:50mg	○	○														2~3回 (食後)	100mg 【初回】100mg 【最高】150mg	他社に腸溶錠あり (後発品)	

SDIC一覽表(A-072) 血糖降下剤一覽表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覽表(A-028)インスリン製剤一覽表をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名)	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考					
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る														1日回数 (服用時点)	用量 (1日量)						
					食事・運動療法に加えて下記を使用																					
2型糖尿病	2型糖尿病の食後血糖推移の改善	糖尿病の食後過血糖の改善	耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制	食事・運動療法のみ	SU剤	BG系薬剤	αGI	TZD系薬剤	経口血糖降下剤	インスリン製剤	持効型溶解インスリン	中間型インスリン	BGU系薬剤+	TZD系薬剤+	TZD系薬剤+	BGU系薬剤+	持効型溶解インスリン	SU剤	中間型インスリン	1日回数 (服用時点)	用量 (1日量)	備考				
マリゼブ (MSD)	オマリグリプチン	錠: 12.5mg, 25mg	×	○																			併用薬剤等の条件の記載なし	週に1回	25mg	2015年11月収載

※2: 1日150mgより開始し、忍容性を確認したうえで1日300mgに増量することもできる ※3: 錠0.2mg、OD錠0.2mgのみ ※4: 糖尿病の食後過血糖の改善に使用する場合のみ
 ※5: インスリン抵抗性が推定される場合に限る ※6: 患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与することができる ※7: 患者の状態に応じて2.5mgを1日1回経口投与することができる

SGLT2阻害剤	スーグラ (アステラス)	イブラグリフロジン L-プロリン	錠: 25mg, 50mg	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	50mg 【最高】100mg	国内初のSGLT2阻害剤 2014年4月収載		
	フォシーガ (アストラゼネカ -小野薬品)	ダバグリフロジン プロピレングリコール	錠: 5mg, 10mg	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回	5mg 【最高】10mg	2014年5月収載		
	ルセフィ (大正製薬-大正富山、 ノバルティス)	ルセオグリフロジン 水和物	錠: 2.5mg, 5mg	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	2.5mg 【最高】5mg	2014年5月収載		
	アブルウェイ (サノフィ)	トホグリフロジン 水和物	錠: 20mg	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	20mg	2014年5月収載		
	デベルザ (興和-興和創薬)																										
	カナグル (田辺三菱)	カナグリフロジン 水和物	錠: 100mg	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	100mg	2014年9月収載		
	ジャディアンス (ペーリンガー)	エンパグリフロジン	錠: 10mg, 25mg	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	10mg 【最高】25mg	2015年2月収載		
AGP1製剤	ピクターザ (ノボ ノルディスク)	リラグルチド (遺伝子組換え)	皮下注: 18mg (ペン型注入器)	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝又は夕に皮下注)	0.9mg 【初回】0.3mg ^{※8} 【最高】0.9mg	ダイヤルにより1回の注入 量を設定する(0.3mg、 0.6mg、0.9mg) 要注射針 ^{※9}		
	バイエッタ (アストラゼネカ)	エキセナチド	皮下注: 5μgペン300, 10μgペン300	×	○																	○	○	○	○	10μg ^{※10}	一定量を注入するペン型 注入器 要注射針 ^{※9}
	ピデュリオン (アストラゼネカ)		皮下注用: 2mg(シリンジ), 2mgペン	×	○																		○	○	○	○	2mg
	リクスマア (サノフィ)	リキシセナチド	皮下注: 300μg (ペン型注入器)	×	○																		○	○	○	○	20μg 【初回】10μg ^{※11} 【最高】20μg

SDIC一覧表(A-072) 血糖降下剤一覧表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覧表(A-028)インスリン製剤一覧をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名) 【後】: 診療報酬上の 後発医薬品	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考			
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る														1日回数 (服用時点)	用量 (1日量) 【初回】: 初回投与量 【最高】: 最高投与量				
					食事・運動療法に加えて下記を使用																			
					2 型 糖 尿 病	2 型 食 後 血 糖 推 移 の 改 善	糖 尿 病 の 食 後 過 血 糖 の 改 善	耐 2 型 糖 尿 病 の 発 症 抑 制	耐 2 型 糖 能 異 常 に お け る 食 事 ・ 運 動 療 法 の み	S U 剤	B G 系 薬 剤	α G I	T Z D 系 薬 剤	経 口 血 糖 降 下 剤	イン ス リン 製 剤	持 効 型 溶 解 イン ス リン	中 間 型 イン ス リン	B S U 系 薬 剤 +	T Z U 系 薬 剤 +	T Z D 系 薬 剤 +		B G 系 薬 剤 +	持 効 型 溶 解 イン ス リン	S U 剤 +
配合剤	メタクト (武田)	①ピオグリタゾン 塩酸塩 ②メトホルミン 塩酸塩	配合錠LD: ①15mg ②500mg 配合錠HD: ①30mg ②500mg	×	○ ※12																	1回 (朝食後)	1錠[①15mg/②500mg又は ①30mg/②500mg]	(配合成分の代表的な商品名) アクトス +グリコラン、メトグルコ
	ソニアス (武田)	①ピオグリタゾン 塩酸塩 ②グリメピリド	配合錠LD: ①15mg ②1mg 配合錠HD: ①30mg ②3mg	×	○ ※12																	1回 (朝食前又は後)	1錠[①15mg/②1mg又は ①30mg/②3mg]	(配合成分の代表的な商品名) アクトス +アマリール
	ゲルベス (キッセイ)	①ミチグリニド カルシウム水和物 ②ボグリボース	配合錠: ①10mg ②0.2mg	×	○ ※12																	3回 (食直前)	3錠[①30mg/②0.6mg]	(配合成分の代表的な商品名) ゲルファスト +ベイスン
	リオベル (武田)	①アログリプチン 安息香酸塩 ②ピオグリタゾン 塩酸塩	配合錠LD: ①25mg ②15mg 配合錠HD: ①25mg ②30mg	×	○ ※12																	1回 (朝食前又は後)	1錠[①25mg/②15mg又は ①25mg/②30mg]	(配合成分の代表的な商品名) ネシーナ +アクトス
	エクメット (ノバルティス)	①ビルダグリプチン ②メトホルミン塩酸塩	配合錠LD: ①50mg ②250mg 配合錠HD: ①50mg ②500mg	×	○ ※12																	2回 (朝夕)	2錠[①100mg/②500mg又は ①100mg/②1000mg]	2015年11月掲載 (配合成分の代表的な商品名) エクア +グリコラン、メトグルコ

※12: 配合成分の併用による治療が適切と判断される場合に限る